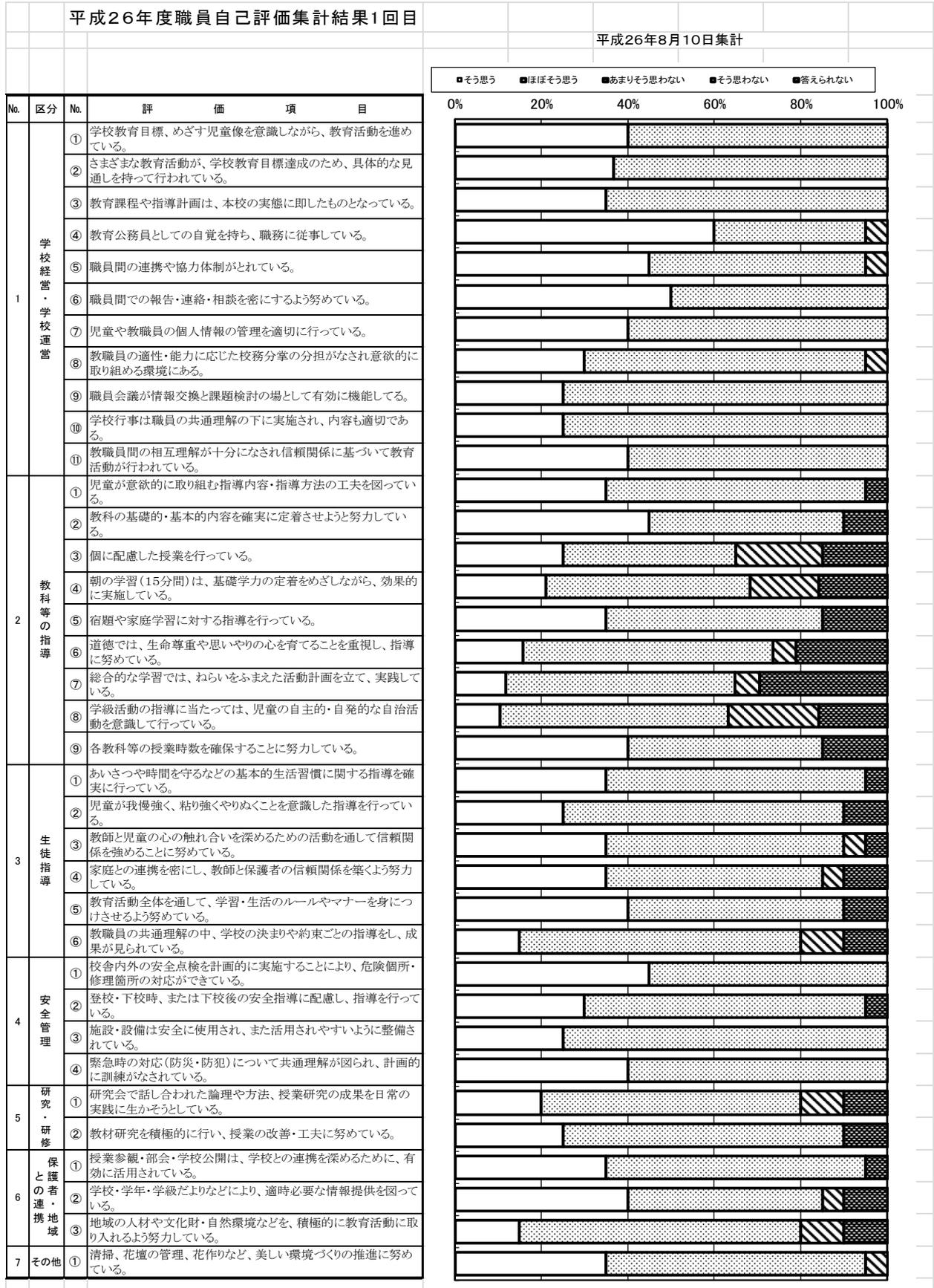


平成26年度 南アルプス市立白根百田小学校前期自己評価書

1 教職員による自己評価について (平成26年7月実施)



学校評価教職員自己評価 課題と改善案

1 学校経営・学校運営	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙の再利用, 特に子供に使用させる際には個人情報が入っていないか確認を。 ・職員会議・終礼での確認事項・協議事項が反映されていないことがある。徹底していきたい。また, 職員会議や終礼が長時間すぎる。短時間でという校長先生の話があったが, もう少しコンパクトにしたい。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の再利用は, 紙を仕分けるとき個人で責任をもって行う。内容を確認する。判断に迷ったらシュレッダーにかける。 ・話し合いの結果をそれぞれ記録する。インフォメーションの活用。詳細はインフォメーションで。
2 教科等の指導	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学では, 学力・学習状況調査, 学力把握調査の課題をピックアップして継続指導していく。週に2回に増やす。 ・学力差が大きい教科・単元では, 授業の中では個に応じた学習ができていない。どうしても残り勉強になってしまうが, 残り勉強では集中も少ないなあと感じている。 ・朝の学習は, 基本的に読書をするものと思っています。特に学習していません。 ・未履修がないようにしっかり教科指導に取り組んだ。1学期, 8:25には朝学習をしっかり取り組む習慣づけをした。中身にもこだわり, 補習的な中身も多く取り入れた。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・読書だけでなく, 問題に取り組ませる。15分×3回で1単位時間になる。
3 生徒指導	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや正しい言葉遣いができない児童が全校的に多い。自分から進んで～という部分はあまり見られない。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにやっているクラスもあるが, 学級ごとに取り組み目標を決めて取り組む。
4 安全管理	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・記述なし。
	対応	
5 研究・研修	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・公開に向けて, 特別な形でなく日常の取り組みを生かしていけるようにしたい。 ・校内研の中で, 全校的な深まりが1学期はあまりなかったように感じる。1学期にも授業研を入れたり, 全体研を増やしたりした方がよかった。指定を受けていることもあるので。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な取り組みを紹介できるような場を設定する。日常的に他の学級の授業が見られるような雰囲気を作る。
6 保護者・地域との連携	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・部会参加人数が少ない。 ・人材バンクのような物が手に取って見られるようにしたいです。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・目的をもって参加してもらうために, 事前にテーマを決めたり, 事前にアンケートを取るなどして, その結果について話し合うなどの工夫する。
7 その他	課題と改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷室にたまたま原稿を置きっぱなしになっていたり, カッターの切り残しがあったりする。いつも片づけてはいますが, 急いでいたり, 忙しいとは思いますが, しっかり片づけてほしい。 ・補欠等, 教務の先生方がすぐに対応してくださり助かりました。
	対応	<ul style="list-style-type: none"> ・使う前より美しく・・・を心がける。一人ひとりのマナーの問題です。いつも誰かに見られているという意識で。

2 児童アンケートについて (平成26年7月実施)

児童用アンケート集計結果(%)

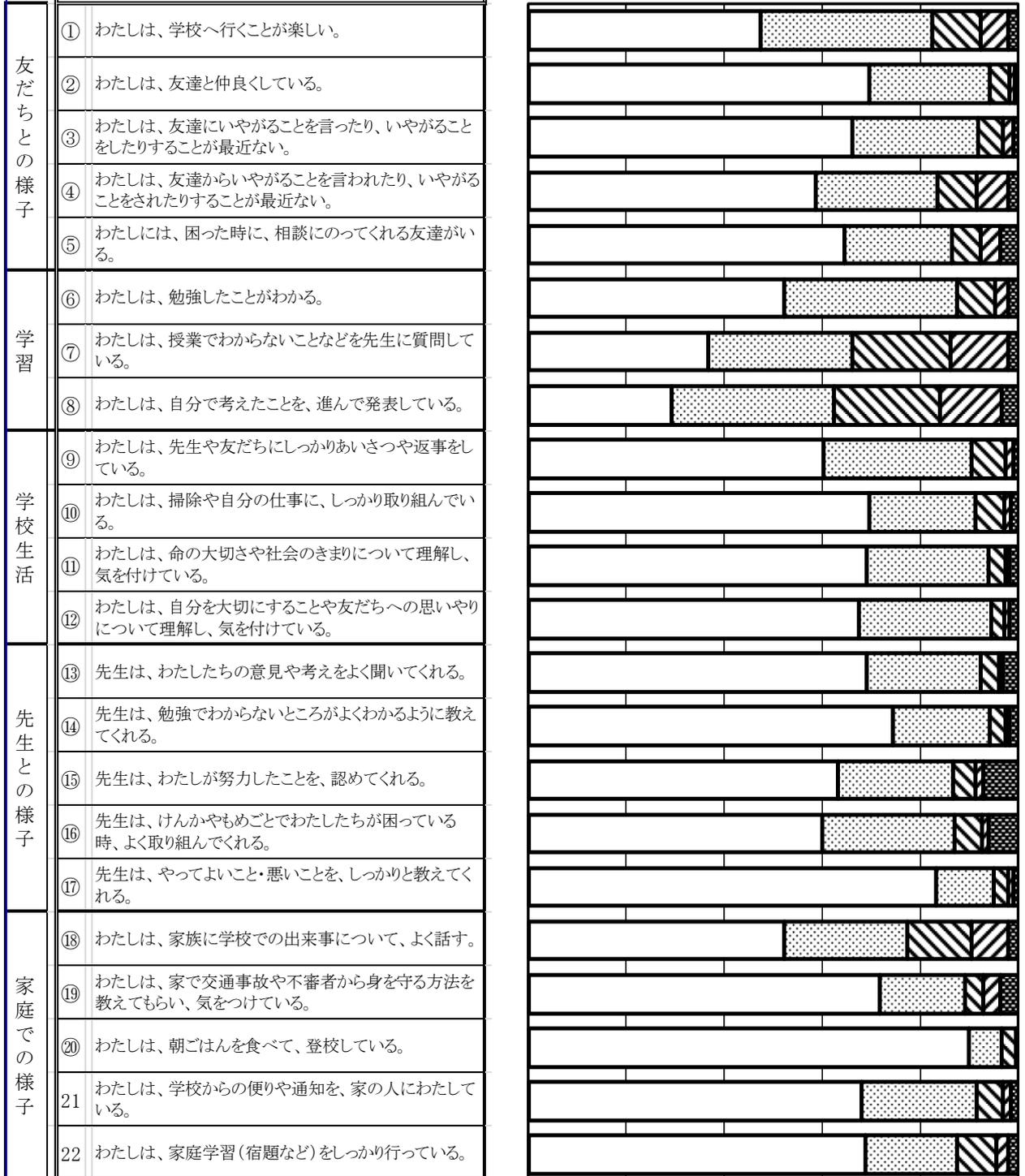
平成26年8月1日集計

アンケート対象:	2年生以上337名
回収数:	331名
回収率:	98%

質 問 項 目

そう思う ほぼそう思う あまりそう思わない
 そう思わない わからない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



《考察》

学校生活について

集計結果①～⑤ ⑪⑫に関して

○①の学校が楽しいと答えている児童が、「そう思う」、「ほぼそう思う」を合わせて、82%になっており、「学校が楽しい」と感じている児童が多い。(昨年86%)

一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している児童が16%いる。今後、これらの児童の理由(友達関係がうまく築けない、学習が分からない、家庭環境が不安定等)を探り、具体的な手立てを考えていく必要があると思う。

○②の友達と仲良くしているが「そう思う」「ほぼそう思う」を合わせて94%、⑤の「困った時に相談にのってくれる友達がいる」と答えている児童が「そう思う」「ほぼそう思う」を合わせて86%と高く、友達関係は良好であるといえる。一方、友達と仲良くできないと思っている児童が合わせて5%(学級1名程度)いる。この子たちに対する声かけや仲間づくりのサポート等手立てを考えていく必要を感じる。

△③の「友達に嫌がることを言ったり、嫌がることをしたりすることが最近ない」に対して「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせると7%であるのに対し、④の「友達から嫌がることを言われたり、嫌がることをされたりすることが最近ない」の項目で、「あまりそう思わない」「そう思わない」が、14%となっており、嫌なことを言ったりしたりする側と、される側の意識に違いがある。自分では単にからかっているとか、悪意はないつもりでも相手は深刻に受け止めてしまうこともあるということ指導する必要がある。

○⑪⑫に関わって、「いのちの大切さや社会の決まりについて学んでいる」「自分を大切にすることや友達への思いやりを学んでいる」がともに94%と高く、普段の学級での指導の成果が表れていると考えられる。

集計結果⑨⑩に関して

○あいさつの項目では、「そう思う」「ほぼそう思う」を合わせると、これまでの80%代を超え、90%だった。あいさつをする子の比率は毎年上がってきている。「心のリボン運動」等、児童会での取り組みや教師が意識して取り組んだ成果だと思われる。今後も更なる向上を目指して、全校体制で取り組んでいけたら良いと思う。

学習について

集計結果⑥～⑧ ⑬～⑰に関して

○授業が分かるかの項目では、「そう思う」「ほぼそう思う」を合わせると88%で高い比率になっている。日々の実践の工夫や分からない子に対する手立て、TTの有効活用が成果につながったと思う。今後も、分からない子に対する補習等さらなる手立てを工夫していきたい。

○先生方に関する設問には、「話を聞いてくれる」「わかりやすく教えてくれる」「やってよいことと悪いことをしっかり教えてくれる」の項目は90%を超えており、先生たちが子どもたちをよりよくしようと努力していることがうかがえる。「努力したことを認めてくれる」87%「けんかやもめごとへの取り組み」87%となっており、児童の努力の様子を具体的な言葉で伝えることを意識したり、もめごとなど困っていることにさらにていねいに対応したりしていくことで児童の生活への満足度も高めていけるのではないかと感じる。

△授業で質問している、進んで発表しているかの設問については、できてないと答えている児童が

多い。校内研究での「聞くこと」に関連して、発表の仕方や発表しやすい環境づくりを工夫していく必要がある。

家庭でのことについて

集計結果⑱～㉓

○家庭学習の定着率は、88%で昨年の94%より低くなった。家庭学習の習慣化を促すための働きかけをしていくことが必要だと感じる。

○交通事故や不審者への対応については、家庭でもよく話をしていることがわかる。

○朝ごはんを食べて登校している児童は97%でよい傾向がみられる。

△家族に学校での出来事を話す児童が、77%で、学校での出来事を話す児童が低い傾向がうかがえる。

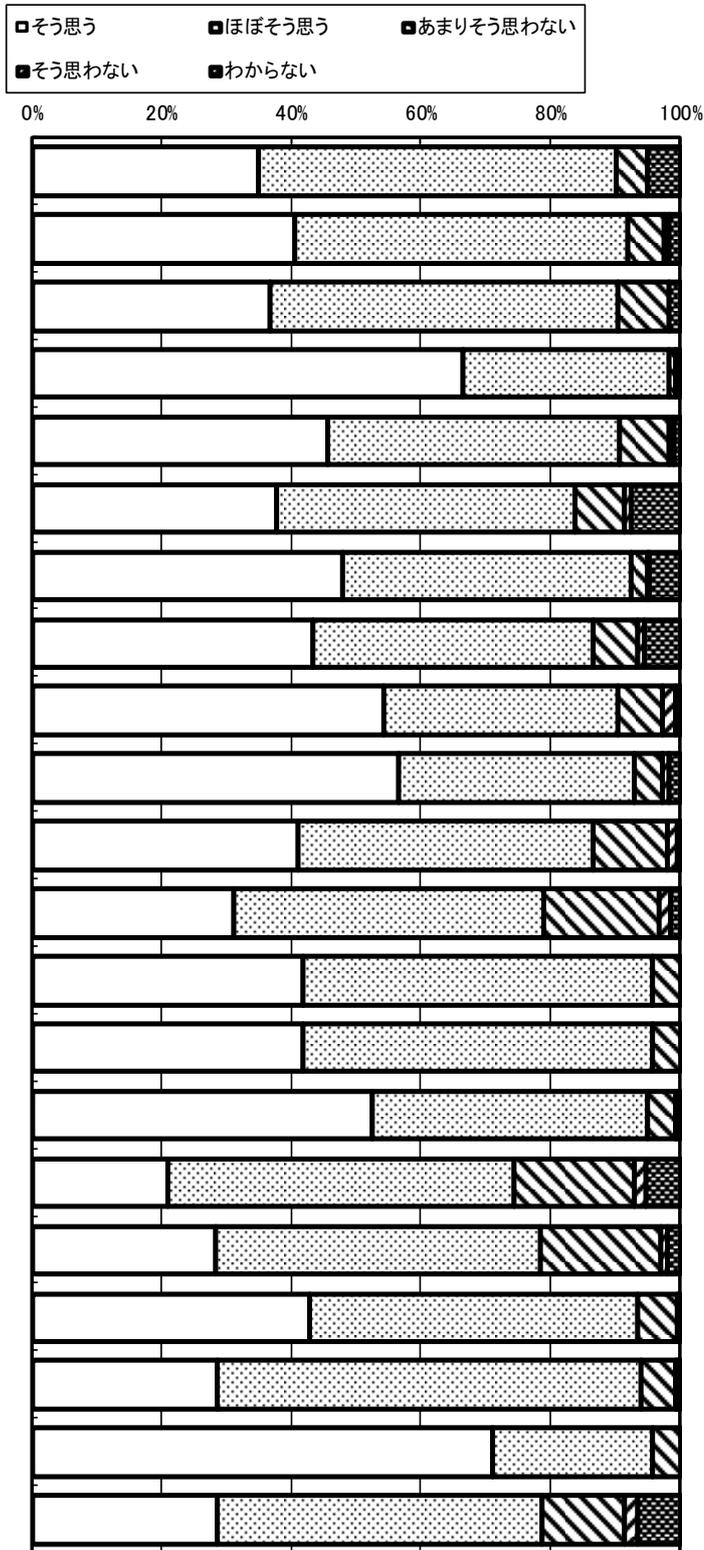
3 保護者アンケートについて (平成26年7月実施)

『白根百田小学校教育についてのアンケート』集計結果

平成26年7月25日集計

アンケート対象:	378人(全児童保護者)
回収数:	305人
回収率:	80.7%

質 問 項 目	
学校の教育活動について	1 学校は、保護者に教育目標や教育方針を伝えている。
	2 学校では、特色ある教育活動を進めている。(朝学習、縦割り班活動、体験活動など)
	3 学校は、生命を大切にす心・思いやりの心や社会のルールを守る態度を育てている。
	4 学校は、授業参観や学校開放等で、子どもの様子を見る機会を設けている。
	5 学校、学年・学級からのお便り等で、学校の様子がよくわかる。
	6 先生は、基礎基本の徹底や学習のつまずきなどに積極的に取り組んでいる。
	7 先生は、保護者からの相談に適切に対応してくれる。
	8 先生は、子どもの話をよく聞き、よく理解してくれる。
子どもの様子	1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。
	2 子どもは、友だちと仲良く生活している。
	3 子どもは、学校のことをよく話す。
	4 子どもは、学習がわかり、基礎学力が身についている。
	5 子どもは、地域・家庭で進んであいさつをしている。
保護者御自身について	1 学校からの文書やお便りなどはよく読んでいる。
	2 授業参観や学校行事には積極的に参加している。
	3 子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。
	4 子どもの様子に変化があれば、すぐに先生に知らせ、相談している。
	5 子どもに、学校のことや出来事をよく尋ねる。
	6 子どもの話をよく聞いてあげている。
	7 家庭内で「おはよう」「おやすみ」等のあいさつがされている
	8 機会があれば、ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。



《考察》 平成26年度 保護者アンケート1回目

1 アンケート全体より ※AとBを肯定的評価, CとDを否定的評価とする

- 全21問の質問のうち, 80%以上の肯定的な回答が17問であることから, 保護者は学校教育に対しては十分理解を示してくれていると考える。

* 肯定的な回答が80%未満の質問

- 2-4「子どもは, 学習がわかり, 基礎学力が身につけている」……………79.1%
- 3-3「子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている」……………74.4%
- 3-4「子どもの様子に変化があればすぐに先生に知らせ, 相談している」……………78.4%
- 3-8「機会があれば, ボランティアとして教育活動の支援をしてもよい。」……………78.7%

2 学校の教育活動について(8問)

- 8つの質問のほとんどが90%以上であり, 保護者は学校の教育活動に対して理解をしていると考えられる。

○ 特に1-1「学校は, 保護者に教育目標や教育方針を伝えている」1-4「学校は, 授業参観や学校開放等で, 子どもの様子を見る機会を設けている」1-5「学校, 学年・学級からのお便り等で, 学校の様子がよくわかる」はいずれも90%以上と高い。これは学校日より, 学年・学級日より, 学校連絡メールなど, 児童の今の姿に照らし合わせた指導にどう取り組んでいるのかを具体的事例を挙げて発信し, 積極的に情報公開を行っている事に対して, 保護者は理解を示している。また, 授業参観や学校開放日の設定, 生活科など保護者のボランティア参加を募っていることに対し理解を示していると考えられる。

○ 1-6「先生は, 基礎基本の徹底や学習のつまずきなどに積極的に取り組んでいる」への回答として, 「あまりそう思わない」「そう思わない」が昨年度と比較すると10%から8.5%に減っており, ほとんどの保護者が各担任の日々の熱心な指導を認めている。ただ, 児童の学習内容の理解度, 学力の定着度に否定的な回答が約20%であり, 必ずしも満足していない様子が伺える。学力向上に向けてさらに学習のつまずきや課題の改善に向けて継続的な指導をする必要がある。

3 子どもの様子について(5問)

○ 2-1「子どもは, 学校に行くのを楽しみにしている」2-2「子どもは, 友だちと仲良く生活している」は共に90%以上を占め, ほとんどの保護者が学校生活に満足している様子が伺える。

○ 2-4「子どもは, 学習がわかり, 基礎学力が身につけている」の回答は約20%が否定的であり, 前述のように学力向上へのさらなる取組が必要である。

○ 2-5「子どもは, 地域・家庭で進んであいさつをしている」は95%と高く, 学校でも朝の登校時には多くの児童が元気にあいさつする姿が見られる。ただ, 登校中のあいさつがなかなかできていない児童も一部見られるとの情報も学校に入っている。高学年が率先してあいさつし, それを手本にして下学年もあたりまえにあいさつできる習慣が定着するよう, 集団下校時や登校班指導の折に継続した指導をする必要がある。

4 保護者自身について(8問)

○ 4-1「学校からの文書やお便りなどはよく読んでいます」, 4-2「授業参観や学校行事には積極的に参加している」, 4-5「子どもによく学校ことや出来事をよく尋ねる」, 4-6「子どもの話をよく聞いてあげる」, 4-7「家庭内で“おはよう”“おやすみ”などのあいさつがされている」の質問に対しては, 肯定的な回答が90%以上を占めた。保護者が学校教育に関心をもち, 協力的であるとともに, 家庭で子どもとのかかわりを大切にしようとしていることが伺われる。

○ 4-3「子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている」に対する回答は昨年度と同様に20%強が否定的であり, 変わっていない状況がある。

5 まとめ

保護者は

- ① 学校が積極的に行っている情報公開に対し、十分理解を示し評価している。また保護者の相談に適切に対応し、児童の話をよく聞き、理解している教師の姿勢も評価している。
⇒⇒学校に対して好意的である。
- ② 子どもとの会話に努力している。⇒子どもと良好な関係を築くよう努力している。
しかし、子どもの学力に関しては不安があり、子どもの基本的な生活習慣はあまり注意を払わない保護者もいる。